

海外教育

メディアレポート

メディア・リテラシー

中学校における「メディア・リテラシー教育」の取組
(アメリカ合衆国ペンシルベニア州)東京学芸大学名誉教授
篠原文陽児

はじめに

ペンシルベニア州政府のホームページを開くと、先ず目に飛び込むのは、見出しの一つ「医療用マリファナの入手」である。これは、2016年4月、医療用に限り、州ではマリファナは合法化され、娯楽用の使用に関しても寛容さが反映されているからか。また、この寛容さが一因であるのか、2018年ペンシルベニア州青少年調査(PYS)によれば、10%を超える中学生が過去30日間にマリファナを使い、同じく45%以上が1回以上の飲酒経験があるという結果がある。

学校制度等の概要

州の学校制度は、小学校・中学校・高等学校の区分で、5・3・4制、6・2・4制、6・6制など、多様である。

就学開始年齢は、州の標準的な事例では、その年の9月1日までに5歳7ヶ月に達する者が、同年の9月に小学1年生となることができるという。

義務教育期間は8~17歳で、公費による教育が受けられる期間は6~21歳となっている。

なお、大学教育では、ペンシルベニア大学が合衆国初の医学校であり、ペンシルベニア芸術アカデミーも国内初、国内最古の芸術大学である。

メディア・リテラシー教育と教師用指導書の概要

表は、中学校用メディア・リテラシー教育のカリキュラムである。州の教育課題の一つである中学生の飲酒と薬物乱用等について、特に広告あるいは広報メディアに関する教育が、4つの学習領域の大項目と12の小項目である学習内容と目標で特化され、構成されている。

また、教師用指導書は、授業時における発問と応答事例はもとより、ワークシートや評価問題を含むより詳細な別の冊子として、開発されている。これを活用し、教師はカリキュラムに示された目標と内容を他の教科・科目や領域と関連付け、横断的で総合的に指導し評価することができると考えられている。つまり、メディア・リテラシー教育は、州の6教科・科目の標準(Standards)である「読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと」「健康、安全、体育」「芸術と人文科学」「市民と政府」「数学」「科学と技術および環境と生態」から

抽出された51項目と組み合わせ実施される。

たとえば、教師用指導書には、第7課「メディアの役割」を除いた残りの11課は「他人に頼らずに、自分で、読むこと」とされ、教科「読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと」に関連付けた学習として、また、第2課から第9課と第11課および第12課は、教科「健康、安全、体育」の中の「健康な生活」と関連付けた学習とすることが、それぞれ明記されている。

なお、本稿で紹介している中学校用メディア・リテラシー教育に続く高等学校用のメディア・リテラシー教育のカリキュラムと教師用指導書も開発されている。

まとめにかえて

我が国の学習指導要領では、薬物は、小学校第

5学年と第6学年の体育の中の保健で、有機溶剤の心身への影響を中心に取扱いられ、覚せい剤等についても触れる内容である。また、中学校では保健体育の保健分野で、小学校における学習を進展させ、心身への急性影響及び依存性について取扱いられ、特に、覚せい剤や大麻等の取扱いが記されている。

本稿のカリキュラムで取り上げられている広告や広報に限らず、他のメディアでも、生涯を通じた賢明な行動の形成に寄与するメディア・リテラシー教育が構想できるはずである。

残すところあと1ヶ月足らず。新教育課程が、学校段階を追って、順次開始される最初の年、2020年である。教師の働き方改革も含め、山積する教育の課題解決に向けたメディア・リテラシー教育の数多くの事例の蓄積が求められる。

表・中学校における飲酒、薬物乱用等防止のためのメディア・リテラシー教育カリキュラム

大項目	小項目	目標
I. 日常生活の中のメディア	第1課 日常生活の中のメディア	多種のメディアについて学び、メディアの利用と取り組む態度に反映させ、一般的なメディアの利用に関する情報を、自分の考えと比較する。
	第2課 ポジティブとネガティブなメッセージ	メディアとテレビの娯楽番組で見出されたポジティブとネガティブの異なる形式を見分ける。
II. 広告分析	第3課 広告の技法	注意をひきつけ態度を保持させる広告の基本と技巧について学ぶ。
	第4課 タバコとお酒の広告の成功例	人々の態度を形成させる広告の効果を証立している方略を読む。
	第5課 広告を見破る	お酒の広告を分析し、説得力あるデザインに加えて、飲酒が無害であるように見せるため、何が取り除かれているかを考える。
III. 薬物乱用と文化	第6課 音楽、メディア、薬物乱用	異なるジャンルで、薬物とお酒に関する歌詞を分析する。
	第7課 メディアの役割	著名人、スポーツ選手、音楽家が言語および非言語で伝達するメッセージの中に込められた価値の表現方法を検討する。
	第8課 神話と現実	処方箋とその誤った使い方に関する神話と現実、および、著名人が10代で薬物乱用に至った経緯と衝撃を学ぶ。
	第9課 警告ラベルの理解	警告ラベルが必要な理由と、広告主が製品を売るための巧妙さを学ぶ。
IV. 自分自身のメディア制作	第10課 メディアへの返信	ニュースや編集に対し、メディア事業者に手紙やコメントあるいはブログを書いたり、ツイートしたりする。
	第11課 公共広告の作成準備	健康的な生活様式の決定を子どもや10代および成人に奨励する公共広告を、政府や公衆衛生の組織がなぜ創るか、その理由を学ぶ。
	第12課 公共広告のリミックス手法による制作	薬物乱用を阻止する公共広告の音声トラックを再編集し独自の音声を創る。